

家族支援について



海幕厚生課家族支援班

ご 挨拶

日頃から、海上自衛隊の活動へご理解をいただき、そしてご家庭において隊員を日々支えていただいておりますことに感謝申し上げます。

海上自衛隊の任務が複雑・多様化、そして長期化する中において、隊員が全力で任務に励むためには、ご家族の皆様のご理解とご協力が必要不可欠です。

ご家族の皆様が海上自衛隊の任務を理解し、今後も隊員を支えていただくため、留守を預かるご家族の不安や負担を少しでも和らげるように海上自衛隊は平素から家族支援を行っております。

この資料は、海上自衛隊における家族支援の必要性・重要性について、また、家族支援の取組に関する海上自衛隊の考え方や実際の取組内容についてご家族へ理解していただくために作成しております。ご質問などありましたら、遠慮なくご連絡ください。

航空集団司令官
海 将 園田 直紀



はじめに



自衛隊は、国民の生命・財産、日本の領土・領海・領空を守ることが主たる任務です。

国の防衛



日本の領海を警戒監視中の
P-3C哨戒機



弾道ミサイル防衛ための
スタンダードミサイル(SM-3)

海洋安全保障の確保等



中東海域において情報
収集活動する隊員



ソマリア・アデン湾において
貨物船を護衛する護衛艦

関係国との協力



米・豪・加との共同訓練

災害派遣



瓦礫などの撤去作業



孤立住民の救助活動

国際緊急援助活動



医療物資などの輸送

海上自衛隊の任務は多岐にわたり、かつ迅速に対応することが求められています

ご家族に覚えておいていただきたいこと

- ・ 任務のため、隊員は「急に」、「長期間」家族の元を離れてしまう場合がある
- ・ 大規模災害などが発生し、ご家族自身が被災された場合でも、近くに隊員はいないかもしれない



はじめに



海上自衛隊で勤務する隊員と隊員ご家族の心情

不在の間、家族は元気に生活しているのかな

自分がいなくて何か困ったことが起きていないかな



任務地域は安全かしら
怪我などしてないかしら

もしものとき、どこに連絡したらいいのかしら

派遣や出港が増えて
家事・育児の負担が増えた

隊員とご家族が抱える不安や負担は増大



隊員とご家族が抱える不安や負担を軽減するための取組を行うことが必要

- ・ 隊員が任務に全力投球するため
- ・ ご家族に隊員を支え続けてもらうため

隊員とご家族で考えていただきたいこと

- ・ 隊員が不在にすることで発生するご家族の負担はどんなものがあるか？



家族支援とは？



海上自衛隊における家族支援とは

隊員が後顧の憂いなく任務にまい進するために、部隊運用にあたって「**隊員を支える家族の支援を強化する**」
家族支援施策について(通知)(海幕厚第2563号。26. 3. 19)

つまり、

- ① 海上自衛隊の任務・隊員の使命を理解して、ご家族が海上自衛隊を信頼してくれる取組
- ② 隊員が任務によって不在となってもご家族が安心して生活できるようにする取組を日頃から実施し、隊員がいつでも全力で任務に励むことができる環境を整備すること。

ご家族が積極的に参加していただくことが重要

海自Team

=



隊員

+



隊員家族

ご家族に覚えていただきたいこと

- ・ 家族支援の目的は隊員がいつでも全力で任務に励むことができる環境を整備すること
- ・ 家族支援の取組にご家族が積極的に参加することが重要であること



家族支援とは？



海上自衛隊と海自Teamの関係を強化していくためのキャッチフレーズ

Strong Family, Strong Fleet

「強い絆で結びつく家族によって、海上自衛隊は精強・即応となる」



海上自衛隊と海自Teamの関係性

海上幕僚長航行指針

< 隊員と隊員家族編 >

～Strong Family, Strong Fleet～

- 海上自衛隊は、隊員と隊員の家族の誰一人も海自Teamに欠かせない一員と考えています。
 - ✓ 海上自衛隊は、隊員にとって隊員の家族が何よりの支えと考えています。
 - ✓ 海上自衛隊は、隊員が休みの時に大切な家族と楽しく一緒に過ごせるように応援します。
 - ✓ 海上自衛隊は、隊員の家族が隊員の仕事を誇りに思い、優しく見守ってくれることを願います。
- 海上自衛隊は、隊員と隊員の家族を共に歩む大切な存在と考えています。
 - ✓ 海上自衛隊は、海自Teamによって精強性・即応性が支えられています。
 - ✓ 海上自衛隊は、全力で海自Teamの不安を和らげ、安心を支えます。
 - ✓ 海上自衛隊は、海自Teamが幸せになる施策を推進します。

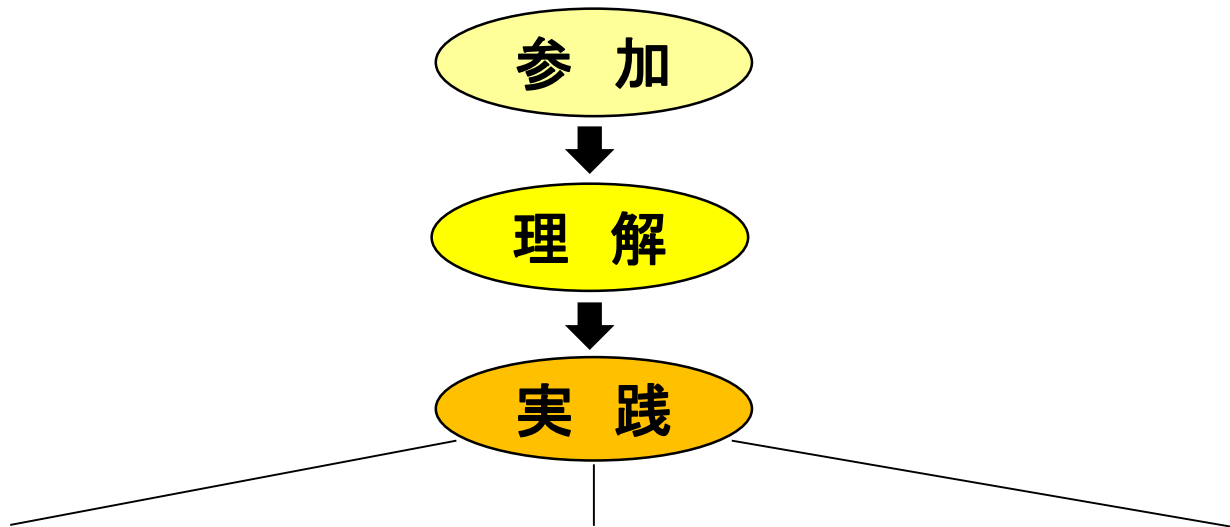
海自Team: 隊員と隊員家族



ご家族の家族支援への関わり



「海自Team」の一員として積極的に参加するとは？



自助 自分の身は自分で守る

普段から「仕事・家事・育児について」や、「もし今隊員が不在になったら何が困るだろうか？」などについて家族で話をし、対処法を考え準備しておくことで、ご家族自身である程度不安や負担を減らすことができます。

- 例
- ・家族間の連絡手段方法
 - ・備蓄や避難袋の準備
 - ・避難場所や経路の確認
 - ・隊員不在間の必要な手続きの確認

共助 地域で助け合う

普段から友人、ご近所、隊員家族同士の交流を築いておくことで、隊員不在の間に、「人手が欲しい」、「誰かに話を聞いてほしい」といった時でもお互いに助け合うことができます。

部隊ではご家族同士が知り合える取組を行っていきますので、積極的に参加して、ご家族同士の絆を深めていただきますようお願いいたします。



公助 行政サービス等の活用

国や地方自治体では、子育て、医療、介護など、暮らしを支える各種事業や相談事業を行っています。また、災害発生や避難に関する情報発信も行っています。

防衛省共済組合では、福利厚生アウトソーシングを導入し、家事代行や各種相談受付など、多様なサービスが利用できます。

普段からこれらのサービスを上手に活用し、また必要な情報を自ら得るように心掛けていただきますようお願いいたします。

海上自衛隊と「海自Team」で家族支援に取り組むことが海上自衛隊の強さにつながります



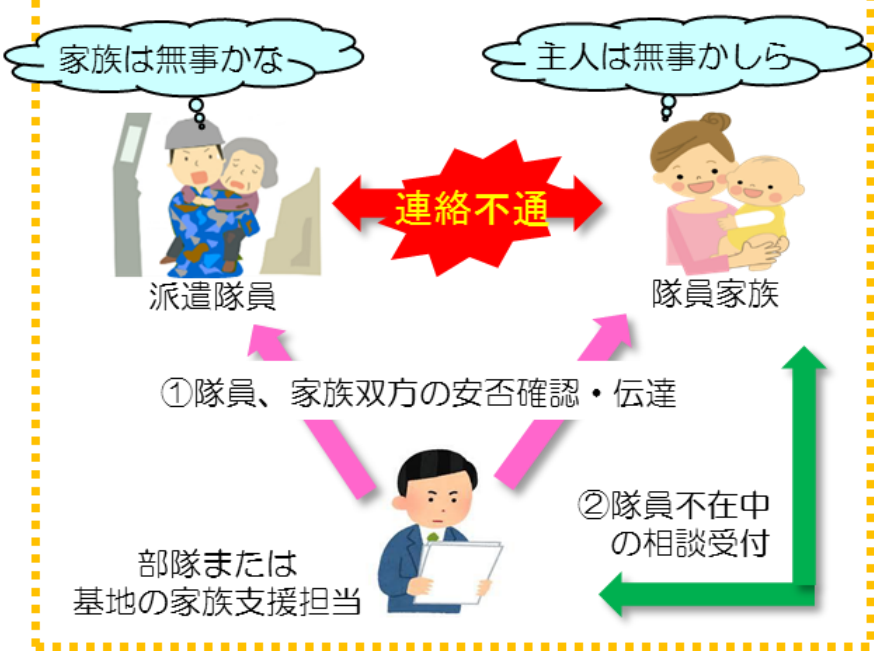
海上自衛隊で実施している家族支援施策



部隊、隊員、家族間の連絡体制の構築

留守家族名簿				第1家族 所在都道府県	頭文字
認識番号	123456	階級	1等海曹	特記事項	
ふりがな 氏名	かいじょう 海上	姓	たろう 太郎	親交のある隊員: 横須賀造船補給所 海尾 守 090-4321-9876	
所属部隊名	いげも	配置分隊	第4分隊		
所在部隊名	いげも	所在部隊 在隊期間	H30. 3. 27~		
生年月日	S43.7.30	健康状態	健康		
住	郵便番号 2380046	都道府県	神奈川県	神奈川県	神奈川県
市町村番地	横須賀市西遊見町9番地		電話番号	自宅	046-111-222
マンションアパート名	マンションどびいた106号		携帯	090-1234-5678	
宗教	仏教		メール アドレス	自宅	
過去の国際平和協力活動 等への参加(派遣先)	H27. 4~H27. 9 第○次海陸対処水上部隊		携帯	farochan.S43@docomo.ne.jp	
出動(派遣)前、不安に思う 事項(出動(派遣)時に記入)	認知症の父親の介護を夫婦で行っており、私が出動した 場合に妻の負担が増える		留守担当者 の事前連絡	説明している	
出動(派遣)時記入欄			派遣期間の情 報提供	第1家族	
本人の安否に かかわる 情報				第1家族	
続柄	妻	ふりがな 氏名	かじじょう 花子	特記事項	
生年月日	S45.8.5	健康状態	健康	避難場所: 横須賀第一小学校(横須賀市西遊見町6番地 TEL046-444-888)	
住	郵便番号 2380046	都道府県	神奈川県	神奈川県	神奈川県
市町村番地	横須賀市西遊見町9番地		電話番号	自宅	046-111-222
マンションアパート名	マンションどびいた106号		携帯	090-2345-6789	
勤務先等名 (会社、学校等)	三笠商事株式会社		メール アドレス	携帯	hanachan.4585@docomo.ne.jp
勤務先等 電話番号	代表		代表	046-999-888	内線
				1234	
続柄	子	ふりがな 氏名	かいじょう いちろう	特記事項	
生年月日	H9.10.15	健康状態	健康	代表 内線	046-777-666
携帯電話番号	080-9876-5432	勤務先等名 (会社、学校等)	横須賀大学	代表 内線	046-555-333
携帯電話番号	080-7890-2345	勤務先等名 (会社、学校等)	横須賀高校	代表 内線	
勤務先等 電話番号		勤務先等名 (会社、学校等)	無職	代表 内線	
				代表 内線	認知症
続柄	父	ふりがな 氏名	かいじょう たけし	特記事項	
生年月日	S15.7.19	健康状態	健康		

災害派遣時などの安否確認のイメージ



隊員とご家族で日頃から準備できるお互いの安否を確認し合う方法

- ・ NTTや各携帯電話会社などが運営している災害伝言サービスなどの活用
- ・ 親戚宅などを伝言板にして、お互いの情報を確認し合う

ポイント

- ・ 連絡方法を複数準備しておくとう安心です。



海上自衛隊で実施している家族支援施策



家族支援態勢を盤石なものとするための協力体制



部外協力団体との協定

留守家族の安否確認作業、相談受付などへの協力



地方公共団体との協定

・ 防災対策、生活支援等に関する情報提供
・ 生活面全般に関する相談受付などのへ協力

部外協力団体とは

●公益社団法人自衛隊家族会

主に隊員家族を会員とし、隊員家族という共通の立場で、会員の親睦や相互の激励を深めながら、国民の防衛意識の高揚にも努め、自衛隊に対する協力・支援のため、様々な活動を実施しています。

●公益社団法人隊友会

主に退職した隊員を会員とし、国民と自衛隊のかけ橋として、相互の理解を深めるとともに、防衛意識の普及高揚に努め、我が国の平和と安全に寄与し、併せて自衛隊退職者の福祉を増進することを目的に活動しています。

●公益財団法人水交会

主に海上自衛隊退職者を会員とし、海洋安全保障に関する調査研究等に取り組み、また海上自衛隊の各種活動への協力等を行い、国政の健全な運営の確保に寄与すること目的に活動しています。



海上自衛隊で実施している家族支援施策

部隊の任務や隊員の使命を理解していただくための取組



部隊新聞



説明会・懇談



職場見学



部隊行事への参加

ご家族同士が知り合える取組



家族会設置



交流イベント

ご家族が安心して生活していただける取組

- ・ 共済組合事業に関すること
- ・ 基地・官舎周辺の情報
- ・ 育児・介護に関すること
- ・ 防災に関すること など

各種情報提供



相談窓口の設置

ご家族の積極的な参加をお願いします。また、取組に対するご意見などもお寄せください。



海上自衛隊で実施している家族支援施策



家族説明会



- 説明内容
- ・ 活動内容、派遣先の状況
 - ・ 事前に実施していただく手続き
 - ・ 派遣中の隊員との連絡方法
 - ・ 追送品の発送方法
 - ・ 保険の説明
 - ・ 家族相談窓口のご案内 など

出国・帰国行事への参加



連絡手段確保



追送品送付



ジブチ便り・部隊新聞の発行



家族相談窓口の設置

- ご家族のお困り事の相談受付
- 災害発生時のご家族の安否確認
- 隊員への伝言の受付
- 派遣中の部隊・隊員に関するご連絡 など





海上自衛隊で実施している家族支援施策



海上自衛隊HP 「隊員家族のみなさまへ」



調達情報 | お問い合わせ | **隊員家族のみなさまへ** | English

TOP 海上自衛隊について

海上自衛隊HP TOPページ右上にあります
「隊員家族のみなさまへ」をクリック



調達情報 | お問い合わせ | **隊員家族のみなさまへ** | English



TOP 海上自衛隊について 海上自衛隊の活動 装備品 プレスリリース スペシャル イベント情報 採用情報

TOP ▶ 隊員家族のみなさまへ



隊員家族のみなさまへ
FAMILY SUPPORT

各地域の家族相談窓口連絡先もこちらからでもご確認いただけます

共済組合、共済組合の福利厚生アウトソーシング（ベネフィット・ステーション）HPも、こちらからアクセスできます



平成31年度空団司令部取組状況(BBQ)



BBQを通じて隊員と家族間、家族同士の交流を図りました。

BBQの様子



ビンゴ大会



集合写真



終 わ り に

海上自衛隊では、これからもご家族の皆様が海上自衛隊の任務を理解し、隊員を支えていただくため、また隊員不在中の不安や負担を少しでも和らいでいただけるような家族支援の取組を続けてまいります。

加えて、隊員が誇りをもって元気に任務に励むことができるよう、ワークライフバランスを始めとした働きやすい環境整備も行ってまいります。

ご家族の皆様におかれましては、これからも海上自衛隊に対してご理解・ご協力いただきますよう何卒よろしく申し上げます。

なお、家族支援の取組について、ご意見・ご質問などありましたら、下記までご連絡ください。

お問合せ先： 航空集団司令部 監理幕僚部
〒 神奈川県綾瀬市
電話 0467-78-8611(代表)
交換に「航空集団司令部 監理幕僚部 庶務班」とお伝えください

お わ り

何かご質問などはございませんか？

